

●成果向上に向けた取組について

1 事業実施主体へのアンケート（第一弾）

概要

第一弾：R2までに山村活性化対策事業を完了した事業実施主体173を対象に、実施の成果等についてアンケート実施（R3年5月）、132実施主体から回答。

第二弾：今年度実施中の事業主体も含めた全体に対し、「成果向上に向けた今後の取組の案」についてアンケート実施（R3年7月）、109実施主体から回答。

R2まで事業完了実施主体内訳 〔n=173〕

地域協議会

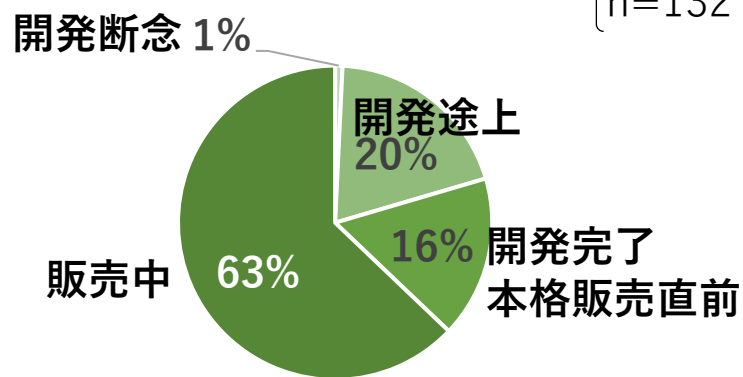
95

市町村

78

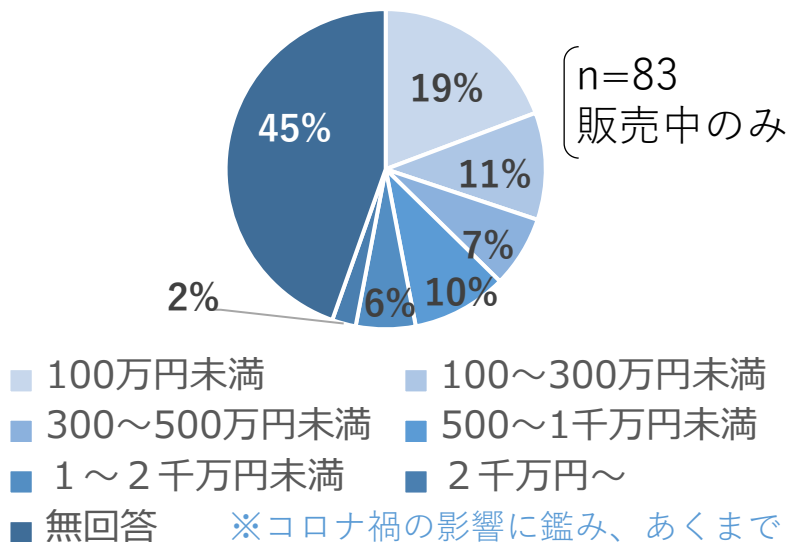
①商品開発の現状

〔n=132〕



②R2年度売上

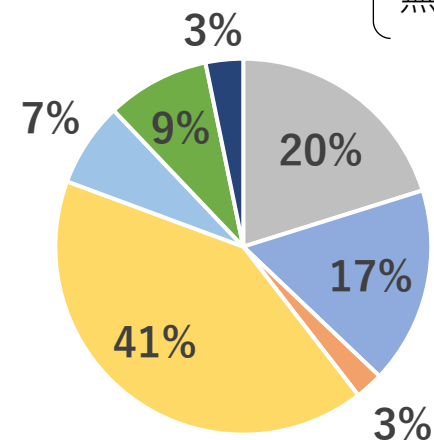
〔n=83 販売中のみ〕



※コロナ禍の影響に鑑み、あくまで参考値であることに留意

③資金以外の現状課題の有無・種類

〔n=123 無回答除く〕



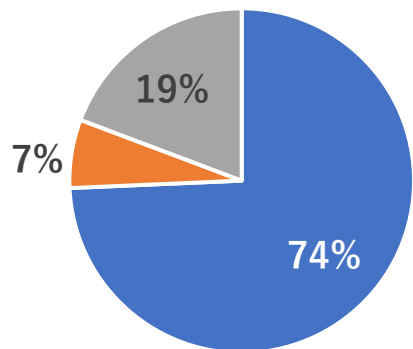
- 経験不足
- 専門家支援不足
- 準備不足
- 人材不足
- 意思統一不十分
- 知験・支援・準備・人材不足
- 課題なし

●成果向上に向けた取組について

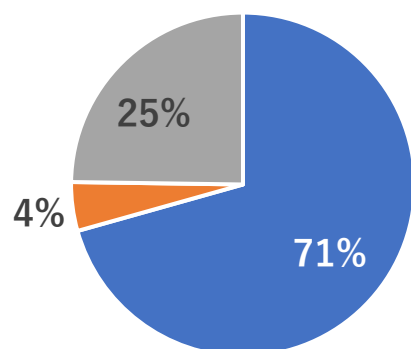
1 事業実施主体へのアンケート（第二弾）

④成果向上に向けた取組等への自身の地域としてのニーズ

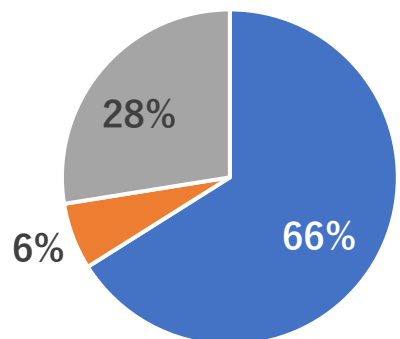
マーケティング
基礎講習



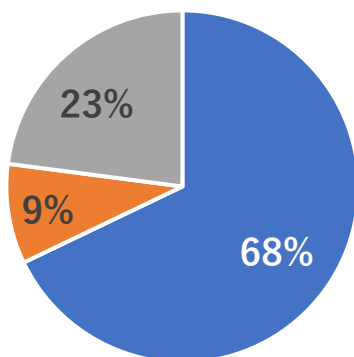
マーケティング
実践型講習



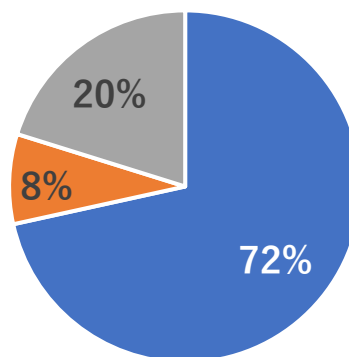
地域資源活用に係る
専門家の企画提案



専門家アドバイス



成功・失敗要因分析
資料配布



■ 有益である
■ 有益ではない
■ 分からない

[n=109]

※左記の5項目を成果向上に向けた取組案として想定し、有益性等について質問

⑤有益性・ニーズの否定理由

(自由記載/類似内容は統合)

- 専門家支援は、専門家任せになりがちで、地域の自主性・自立性が阻害されるなど、主体性が働かなくなる恐れ
- 提案・アドバイスに対応できる体制・状況でないと、専門家意見に左右されて混乱が生じる or 調整に時間ばかり要す or 中途半端になる
- 課題は根深く複雑であることから、単発でなく、並走型コンサルタントの方が望ましい
- 地域特異的な問題があり、それを踏まえたものでなければ、専門家アドバイスなど無意味
- 研修・講習会はフレッシュな情報・知識が得られない恐れ
- 基礎的段階は既に終了しているので、今更な感じがする。